

組合員各位

委告5-13-4

告示の通り、令和6年度昇給要求額ならびに夏季一時金要求額について、第5回執行委員会にて決定致しましたので、会社に要求書を提出し団体交渉に入ります。

要求額決定の背景

18期業績は販売実績19億5200万円、遂行率97.7%、前同比105.5%で計画未達、利益実績については11億9900万円、遂行率98.4%、前同比98.2%で計画未達となりました。その結果、営業利益1900万円、経常利益5400万円、当期純利益3400万円でした。そして現在、19期上期着地見込みは、遂行率93.22%で基準進捗を下回っており、通期基準進捗に対しては、▲2.26%で約4700万円の進捗遅れで厳しい状況にあります。

昇給要求額に関しては、上部団体UAゼンセンの基本方針や過去の昇給金額を捉えながら、賃金体系の維持・向上のための必要金額、昇給に関わる数値の分析など協議を行いました。ここ数年、物価高騰、値上げの波はとどまることを知らず、4月の消費者物価指数は前年同月比2.7%上昇、2020年を基準に比較すると7%以上物価が上昇していること、また昇給は生活給という考えに基づいた要求ではありますが、企業業績等を数字だけでなく総合的に判断しなければならないということなどを確認した上で、基準内賃金の2.9%に相当する8,900円の要求額を決定致しました。

そして夏季一時金に関しては、18期の業績結果と内容の分析、19期の進捗状況など協議を致しました。一時金は「企業業績を捉えた成果給」であり、ICソリューションズとしての業績だけでなく、中北薬品の業績や貢献度などを考慮した上で考えなくてはならないことを確認しました。その議論の中では、各部署において限られた人数の中で全員が業務を遂行し頑張っていること、今後益々厳しい状況が予想される医薬品業界を生き抜くため、中北薬品グループで徹底的な合理化提案を進めなければいけない、ICソリューションズの20周年、将来を見据えた自立に向けて中北薬品に依存しない販売・利益の確保が急務であることなど、執行部全員が確認し、それらの状況を踏まえた上で組合として考えられる額として要求額を決定致しました。以上が要求額決定の要因です。

今期は販売計画21億で、ICソリューションズ20周年に向けて重要な期だと思っています。さらには中北薬品300周年に向けた合理化提案、販間費削減提案を確実に進めていくため、今一度、組合員全員が今置かれている状況に危機感と緊張感を持って自分自身を見つめ直し意識改革、行動改革を期待しています。組合としても同じベクトルで行動できるよう全力でサポートして参ります。

これから団体交渉に入ります。組合員の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

令和6年5月29日

I C Sユニオン

執行委員長 佐藤 智彦